



かわら版

第3号

平成26年10月
発行 NPO法人あきたNPOコアセンター

イベントに
統一感がない

集客
PR不足

イベントを
統括できる
所がない



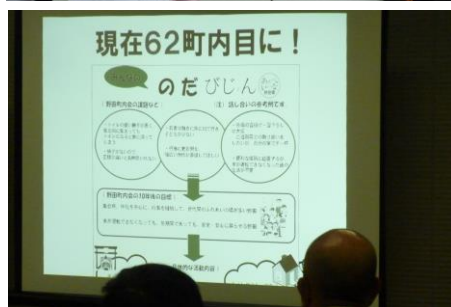
◇まちあるきで気がついた 課題とその背景は？

～自分の住む地域はどつどつ～

平成26年9月16日（火）にアルヴェエを会場に、「エイジフレンドリーシティカレッジワークショップ」の第3回目が開催され、前回2回目に行ったまちあるきのふりかえりを行いました。
まちあるきで気がついた課題と、その背景になっている要因について、課題についてはピンク色の付箋に、その背景と思われることがらを水色の付箋に書きながら、グループで意見を深めていきました。

後半は各自のご近所（生活圏・テリトリー）をあらためてふりかえり、気になる課題について意見交換を行いました。また、ファシリテーターからは、昨年度より五城目町で行われている「町内会ワークショップ」の事例紹介がありました。全71町内会で地域作りに関する住民主体のワークショップが開催されているという全国でも珍しい取り組みです。

子供の声が
聞こえなく
なったなあ...



ワークショップではこのような意見が出されました。

- ① 空き家が多い
- ② 除排雪に苦労をしている
- ③ 閉じこもりのお年寄りや認知症の人がいる
- ④ 近所にどのような人がいるのかわからない
- ⑤ 交通に不便を感じる
- ⑥ ほんとうに弱い立場の人が声を出せない

駅前のみちあるきで出た意見とは違う、生活に密着した切実性の高い意見が出されました。次回はこの内容をふまえて「ではどうする？」ということについて話し合います。